

全体共通「課題発見シート」記載内容 中間とりまとめ

かがわ市民会議第 2 回で委員が記載した「課題発見シート」の内容から、各分科会のテーマを超えて、全体で共通している課題を以下の通り分類した。

なお、課題の大分類は、総合計画の基本方針を変更しない方針を鑑み、現行の総合計画に定める「基本方針」とした。

「現状の課題」分類まとめ

基本方針 1：快適で暮らしやすい交流拠点のまち	1
通信インフラの整備（5G への対応）	1
基本方針 5：一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち	1
自分ごと化の浸透（バリアフリー・ユニバーサルの意識）	1
基本方針 6：みんなが主役となる協働・自立のまち	5
デジタルリテラシーの向上	4
自分ごと化の浸透	2
多様性の受け入れ（既存住民が外から来た人を疎外する傾向）	1

概要

(1) 基本方針 1 : 快適で暮らしやすい交流拠点のまち

課 題		通信インフラの整備 (5G への対応)
それぞれの現状	個人	・ 現所でも、山の中で電波が入らない。実際、自宅でも入らない局がある。
	地域	・ 交通に使えるだけでなく、他の事業にも使えそう。
	行政	
	その他	・ 5G が使えることを前提にしているが、費用のことなどを考えずに推している気がする。

(2) 基本方針 5 : 一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち

課 題		自分ごと化の浸透 (バリアフリー・ユニバーサルの意識)
それぞれの現状	個人	・ 他人事として無関心。
	地域	
	行政	・ 福祉課の所管で終わってしまう (職員意識も含む) 。
	その他	

(3) 基本方針 6 : みんなが主役となる協働・自立のまち

課 題		デジタルリテラシーの向上
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25 年前よりネットを活用しているが、使いこなせていない (機能を十分に活かしていない) 。 ・ ネットワークが出来ない。 ・ PC・スマホは利用しているが、セキュリティーに不安を持っているため、用途は限られている。 ・ 年齢が上になるほど、IT に弱い。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の多い地域で、PC・スマホを使っている家庭は少ない。独居世帯も多く、お金のかかることは勧められない。 ・ スマホ販売店で操作指導をしている。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各家庭へ、ネット環境の整備は難しい (?) 。 ・ 市の情報をネットや、メールで案内している。
	その他	・ 住みやすい環境にする。

課 題		自分ごと化の浸透
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政を他人事としている。活用していない。 ・ 人に言われてからようやく動く。 ・ 自ら新しい事を始めようとしない。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年の住民懇談会への参加が少ない。 ・ 新しい事を受け入れない。

		・ 他人を応援しない。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成して終わり。 ・ 住民懇談会の周知方法の不足。 ・ 新しい事（行事）を始めても2・3回やって終わる。 ・ 他の市で話題になったイベントに興味を持つ。
	その他	

課 題		多様性の受け入れ（既存住民が外から来た人を疎外する傾向）
それぞれの現状	個人	・ その傾向を改善したいが難しい。
	地域	・ 子どもや個人のライフスキル教育がされていない。
	行政	・ 多様性を受け入れられる教育が必要。
	その他	

第1分科会「課題発見シート」記載内容 中間とりまとめ

かがわ市民会議第2回で委員が記載した「課題発見シート」の内容を、以下の通り分類した。

なお、課題の大分類は、総合計画の基本方針を変更しない方針を鑑み、現行の総合計画に定める「基本方針」とした。

また、他の分科会から出てきた内容については、下線を引いて記載している。

「現状の課題」分類まとめ

基本方針3：活気あふれ人が集う産業のまち	10
産業全体の底上げ	3
起業の促進	3
就業の促進	3
企業誘致の促進	1
その他	1
余暇の充実	1

概要

(1) 基本方針3：活気あふれ人が集う産業のまち

課 題		産業全体の底上げ
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> 今はデジタル・テレワーク過渡期だと思うので、必ずしもPC・スマホに精通する必要はないのでは。 鴨川七里、ジビエ、ヒジキなどの特産品がある。 子育て中の人達に必要なこと。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> PC・スマホ等のデジタル教室が必要で、個人的にスキルのある方が教えてはとの意見が出たが、果たしているのか。
	行政	
	その他	

課 題		起業の促進
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> 働き場所を作る。 新しい店ができて、あまり、媒体で紹介されない。 新しい店ができたと思ったら、なくなっている。 資金の問題、準備（法的な手続き等）が分からない。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> 職を増やす。 商工会は全国商工会と情報共有している（経営について指導員がいる）。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 動いているか。 補助金・助成金の用意がある。
	その他	

課 題		就業の促進
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークに行く。 求人情報を探す（インターネット、新聞、知人の紹介など）。 自身で会社に売り込む。 近所にある店や会社はわかる。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> 求人募集の媒体は、新聞、店頭掲示、自社HP等がある。 タウンページに会社の広告や案内がある。 市内の中学生が職業体験を行っている。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークで情報提供している。 雇用相談を受けている。 業務形態を把握している。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 漁業/農業/林業/等、個人経営の場合、特に宣伝しない。 <u>障害者が働けるように、デイサービス、就労支援施設、職場の整備。</u>

課 題		企業誘致の促進
それぞれの現状	個人	
	地域	・ 高収入を考えていない。
	行政	・ 仕事の成り立ちを知らない様子。
	その他	

(2) その他

課 題		余暇の充実
それぞれの現状	個人	・ 働きがいには、休日は何をするか考えたり、出かける楽しみが必要。家庭でゆっくり行ける広い公園、室内での遊び場がない。
	地域	
	行政	
	その他	

第2分科会「課題発見シート」記載内容 中間とりまとめ

かがわ市民会議第2回で委員が記載した「課題発見シート」の内容を、以下の通り分類した。

なお、課題の大分類は、総合計画の基本方針を変更しない方針を鑑み、現行の総合計画に定める「基本方針」とした。

また、他の分科会から出てきた内容については、下線を引いて記載している。

「現状の課題」分類まとめ

基本方針1：快適で暮らしやすい交流拠点のまち	16
歩道・通学路の整備	2
公共交通の利用	5
交通弱者の移動対策	8
交通渋滞の緩和	1

概要

(1) 基本方針1：快適で暮らしやすい交流拠点のまち

課 題		歩道・通学路の整備
それぞれの現状	個人	
	地域	
	行政	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>歩道がしっかり歩けないところがある。</u> ・ <u>垣根が歩道にはみ出している。</u> ・ <u>ドブ板に穴が開いている。</u>

課 題		公共交通の利用
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車を利用して、道路の安全整備や観光客が入ってくるハイシーズンの交通渋滞など、課題を感じている。 ・ 自家用車ばかりでバスを使わない。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内交通が不便なので免許の返納が出来ない。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の利活用の現状分析を詳しくしてほしい。 ・ 弱者を送迎するセクションを独立させる。オンデマンド。 ・ 公共交通の整備が出来ていない。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・

(その他の意見)

- ・ 通学道路の安全不備
- ・ ニーズがないからだろうが、少なくともいいので、早朝、夜間でもタクシーを利用できると嬉しい。

課 題		交通弱者の移動対策
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車を利用して、道路の安全整備や観光客が入ってくるハイシーズンの交通渋滞など、課題を感じている。(再掲) ・ 事業を通じて協力ができる。 ・ 車いす使用の方、医療処置を行っている方への対応。 ・ 生活を支えるという視点。 ・ ネットを利用して生活必需品を購入する。 ・ コープの利用。 ・ 車異動で困ってはいない。 ・ 協力できる範囲で送迎のお手伝いをする ・ <u>買い物、病院、集会など、自分の行きたいときに自分の運転で出かけている。しかし、返納したらどうなるか心配。</u>
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院、福祉、バス、タクシー、宅急便、郵便局など、日中に動いている事業所(交通資源)を探す、交通資源の活用を考える。 ・ ネット環境。 ・ 子どもも健常者も、全人的な対応。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣近所で声を掛け合う。 ・ バスが少ない。 ・ 公共バスの利用者が少ないように思う。 ・ 日中、タクシーは亀田病院と鴨川シーワールドに待機している。 ・ ホテルやゴルフ場のバスが走っている。 ・ 福祉事業所の送迎車が走っている。 ・ <u>若い人たちは勤めているので、その人たちの都合に合わせるのは難しい。</u>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の利活用の現状分析を詳しくしてほしい。(再掲) ・ 通学道路の安全不備。(再掲) ・ 弱者を送迎するセクションを独立させる。オンデマンド。(再掲) ・ 小規模事業所と経済(コスト、負担感)の視点。 ・ 全対象者をカバーする福祉の手段として考える。全ての人を対象。 ・ 公共交通の整備が出来ていない。 ・ 交通弱者を守るための交通手段になっているか。コミュニティバスは1日4本のみ。乗る人は少ない。コストを他の輸送手法に。 ・ 公共交通機関との関係性。 ・ スクールバスが走っている。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動運転、小さいから出来ること。 ・ 免許を返納された方。 ・ 福祉 mover 市内の小規模事業者の送迎だけでは難しいという意見。 ・ コロナでケータリングが行われるようになったり、閉店した事業もある。 ・ <u>路線バスを利用するにもバス停まで遠い。</u>

(その他の意見)

- ・ デマンドタクシーの実証運行について

試験運行で、エリアと曜日が決まっていることから、自分の出掛ける日と合わないと言っている人々の話を耳にする。これからどうなるかわからないのですが、決め事も緩くし、また、鴨川地区内全域とかになるとありがたい。

課 題		交通渋滞の緩和
それぞれの現状	個人	・ 混み合う時間を外して行動する。
	地域	・ ホテルやゴルフ場のバスが、駅やフェリー乗り場までお客の送迎をしている。
	行政	・ 広報が弱い。
	その他	・ 24号線の打墨神社から亀田病院方面に抜ける道は、整備されているが利用者が少ない。

第3分科会「課題発見シート」記載内容 中間とりまとめ

かがわ市民会議第2回で委員が記載した「課題発見シート」の内容を、以下の通り分類した。

なお、課題の大分類は、総合計画の基本方針を変更しない方針を鑑み、現行の総合計画に定める「基本方針」とした。

また、他の分科会から出てきた内容については、下線を引いて記載している。

「現状の課題」分類まとめ

基本方針1：快適で暮らしやすい交流拠点のまち	4
子育て世帯に選んでもらえるまちづくり	4
基本方針2：環境と調和した安心・安全のまち	5
安心して遊ばせられる自然環境	5
基本方針4：ともに学び未来を育む教育文化のまち	5
学習意欲を刺激できる教育	2
多様な選択の提供（進学をサポート）	1
教育への関心度	1
体験学習の充実	1
基本方針5：一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち	11
予防接種の促進	1
孤立・不安の解消	6
相談体制の整備	2
子育て世帯と地域のコミュニケーション	2
基本方針6：みんなが主役となる協働・自立のまち	1
繋がりやすい地域コミュニティ（お祭りなど）	1

概要

(1) 基本方針 1 : 快適で暮らしやすい交流拠点のまち

課 題		子育て世帯に選んでもらえるまちづくり
それぞれの現状	個人	・ 子育てに適した地域で住居が確保できるか。
	地域	・ 子育て見守りの体制ができているか。 ・ 部活動やクラブの減少。
	行政	・ 学校生徒の偏り。 ・ 学校の減少。
	その他	

(その他の意見)

- ・ いっそ学区をなくしてはどうか。

(2) 基本方針 2 : 環境と調和した安心・安全のまち

課 題		安心して遊ばせられる自然環境
それぞれの現状	個人	・ 自然に近く育つとはいえ、昔に比べたら、自然が荒れたり、ふれあう機会は減っている。 ・ 子供同士で中々遊べない。 ・ 高齢化による耕作放棄地の増加。 ・ 自然環境はあるようで変わってしまった。護岸工事・水質悪化(農薬)など。 ・ 自然は危険という考えがある。
	地域	・ 共働き、勤め人が増えて、子どもを見守る大人も減った。 ・ 過疎化。 ・ 見守りが減る 危険(?)。 ・ 危ないならダメ、行くなという。 ・ 交通量の増加。
	行政	・ 自然環境を活かしきれていない。 ・ 公共でなければ、即対応、整備は難しい。
	その他	・ 教育・環境・家庭(経済)・仕事(づくり)のリンク(循環・還流)

(その他の意見)

- ・ 県からの指摘(県南の教育の地盤沈下を要注意)

(3) 基本方針 4 : とともに学び未来を育む教育文化のまち

課 題		学習意欲を刺激できる教育
それぞれの現状	個人	・ 周りがあまり勉強しないから、自分もしないでいいと思ってしまう。結局、大学進学が難しくなり、結果、収入の低い職業にしか就けない。
	地域	・ 地元しか見ない人は都市部の豊かさが見えない。または、競争しても無理だと思っている。 ・ こども園で孫と同じ年齢のクラスの子どもが少ない。
	行政	・ 子どもを増やすための施策。
	その他	

課 題		多様な選択の提供 (進学のサポート)
それぞれの現状	個人	・ 鴨川から都内の大学に通学することは難しい。
	地域	
	行政	・ 県南部居住者への (県の) 助成がない。
	その他	

課 題		教育への関心度
それぞれの現状	個人	・ <u>子どもの教育 (特に有名大学進学) 環境に関心・不安がある。</u>
	地域	・ <u>"長狭の小中一貫校の実現。</u> ・ <u>少子化による小中学校の廃校。"</u>
	行政	・ <u>タブレットの配布。</u>
	その他	

課 題		体験学習の充実
それぞれの現状	個人	
	地域	・ <u>里山・海的环境は充分ある。大山千枚田などはある。</u>
	行政	・ <u>空き家バンク。</u>
	その他	

(4) 基本方針 5 : 一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち

課 題		予防接種の促進
それぞれの現状	個人	・ 定期予防接種については無料のものが多く。
	地域	
	行政	
	その他	・ 子どもへの任意の予防接種に対しても費用補助があるといい。

課 題		孤立・不安の解消
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核家族が多くなり、そこへの助けが少ない。 ・ 一人親世帯の増加、孤立。 ・ ワンオペ育児による孤立。 ・ 困った時に頼れない心情があるのか。 ・ 行政サービスを把握していないのでは。 ・ 子育てを相談できる人が地域にいるか。" ・ 肉体的・精神的・経済的にしんどい。" ・ 若夫婦のみでの困難さがある。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核家族化。 ・ 一人親世代の増加、孤立。 ・ ワンオペ育児による孤立。 ・ 医療体制は整っている。 ・ 都会と同様の問題がある（出産、いじめ、虐待等）。 ・ 地域で子育てをする人を見守る姿勢があるか。 ・ 地域の中に身近にサポートをしてくれる人を得られるか。 ・ 地域とのつながりが少ない。 ・ 高齢者の知恵や人材が活かされていない。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ かもがわ子育てトータルサポートガイドを作成している。 ・ サポートは様々あるが周知不足。 ・ 子育て支援はあるが利用しているのだろうか。 ・ 情報の提供はどうしているのか。不足している情報はないのか。利用しやすい情報か。 ・ 子育てサポートは他地域並みには充実している（が、そんなに知られていない）。 ・ 積極的に行っているようだが、人数的に十分かどうか。
	その他	

課 題		相談体制の整備
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞を取っていないので広報紙を見ない。 ・ 地元出身でないので関わりたい機関が分かりづらい。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣組が、移住者や賃貸住宅に住んでいる人に回覧板を回さない。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て相談などのポスターが少ない。目立たない。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ （コロナ禍もあり）オンライン化の検討。

課 題		子育て世帯と地域のコミュニケーション
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核家族。 ・ 一人で遊んでいる。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他人の目で注意しない。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の解放等も不十分。
	その他	

(5) 基本方針 6 : みんなが主役となる協働・自立のまち

課 題		繋がりやすい地域コミュニティ (お祭りなど)
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none">・ 積極的に参加している。・ 移住者の参加ができない。
	地域	<ul style="list-style-type: none">・ 年 1 回の祭は機能しているが、募金が少なく、継続が難しい。人が減っている。
	行政	<ul style="list-style-type: none">・ 市は関わっていない。
	その他	

(6) その他

第4分科会「課題発見シート」記載内容 中間とりまとめ

かがわ市民会議第2回で委員が記載した「課題発見シート」の内容を、以下の通り分類した。

なお、課題の大分類は、総合計画の基本方針を変更しない方針を鑑み、現行の総合計画に定める「基本方針」とした。

また、他の分科会から出てきた内容については、下線を引いて記載している。

「現状の課題」分類まとめ

基本方針2：環境と調和した安心・安全のまち	23
<i>日常からの備え</i>	<i>11</i>
<i>治山・土砂災害への備え</i>	<i>1</i>
<i>廃屋の管理</i>	<i>1</i>
<i>命を守る行動（避難）</i>	<i>1</i>
<i>情報の発信と受信</i>	<i>7</i>
<i>早期の復旧・復興</i>	<i>2</i>
基本方針6：みんなが主役となる協働・自立のまち	1
<i>繋がりやすい地域コミュニティ</i>	<i>1</i>

概要

(1) 基本方針2：環境と調和した安心・安全のまち

課 題		日常からの備え
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険認識、情報収集の個人差がある。 ・ 防災の怖さを知らないので少し身に着けたい。 ・ 被災経験から、備蓄などの心構えができています。 ・ 経験したことのない災害に対する防災意識が低い。 ・ 水のストックはしていなかった。 ・ 具体的に行動方法を理解している（場所、タイミング）。 ・ 災害時、自分はどう行動するか、日ごろ考えていない。 ・ 災害が起きた時に、どこに助けを求めていいかわからない。やみくもに身動きできない。 ・ 自家発電機で給湯器を動かして風呂を沸かした。 ・ 防災についての認識が甘い。 ・ 災害に対する恐怖や被害の甚大さは理解していたが、想定以上の強大さに改めて反省した。 ・ 基本さえ知らない。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人達との話し合いが少ない。 ・ 自分たちの置かれている立場や場所によって防災に対する知識、心構え、準備が異なる。 ・ 多分していない、どうなっているのかわからない。 ・ 人任せに思っている（自分も）ように感じる。楽観的に思っている人が多い。 ・ 高齢者が多く、説明会など開かれていない。 ・ 集落の集まりの機会があるので理解を深めてもらう。 ・ 平和に過ごしてきたつけが一挙に露呈した感がある。各人勉強になったことと思う。 ・ 基本さえ知らない。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報流布、提供（広報）の伝達の濃淡があった。 ・ 様々な防災に必要な知識、提供が不足している。 ・ 給水車が市に1台のみしかない。 ・ 情報提供をしているが、上手くいっていない。 ・ 健康福祉課の方からのお話は何回も聞く機会はあるが、防災は一度もなかった。 ・ 住民と同程度の水準。九州等の被害地に職員を派遣すると学ぶことが多いのでは。 ・ 担当業務が課ごとの対応になっている。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・

課 題		治山・土砂災害への備え
それぞれの現状	個人	・ 所有者の確認。
	地域	
	行政	
	その他	

課 題		廃屋の管理
それぞれの現状	個人	・ <u>通行時、風水害時等、人・車に危険な状況。</u>
	地域	・ <u>地区でも注意しあっている。</u>
	行政	
	その他	

課 題		命を守る行動（避難）
それぞれの現状	個人	
	地域	
	行政	・ 情報の開示徹底が十分図られていたのか。
	その他	・ 以前は避難所を開設してもほとんど利用する人は少なかったが、台風 15 号以降、利用者が急増していると思う。入れる、入れないといった問題が起きはしないか。

課 題		情報の発信と受信
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等、スマホ・PC が使えない人へ情報が行きわたらない。 ・ 情報を取りに行くことをしていなかった（受け身だった）。 ・ スマホの SNS で状況を知ろうとする前に停電してしまい、情報が得られなかった。仕事に行って、周囲のことが分かり、色々知ることができた。 ・ 積極的に動く人間ではないので、今何が起きているか、供給源が分からなかった。 ・ 情報が少ない、先が見通せない等の不安の中での生活は苦しい。 ・ 自宅が倒木で断線と、車の閉じ込めで積極的に区長と連絡が取れなかった（電話もできなかった）。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の方との共有が出来ない（近所づきあいが無いため）。 ・ 昔から住んでいる家族、新しく住んでいる家族などが混在しているので、日ごろからコミュニティが希薄。 ・ 防災訓練や地域の話し合いが少ない。 ・ 全ての住民がデジタルに対応しているわけではない。 ・ 山の中で倒木等が複数個所で発生し、道路が通行止めとなった。区長は率先して伐木撤去作業に当たったため連絡不十分。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発信しているが、それ自体知らない。 ・ 情報開示の仕方が少ない。 ・ 非常時の行動計画が配布されていない（アナログ）。 ・ 防災無線等の活用が不十分。

	その他	
--	-----	--

課 題		早期の復旧・復興
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害ゴミは重くて片づけられなかった。 ・ ブルーシートがかかるまで時間がかかり、雨漏りは酷かった。安全に住める家が欲しかった。 ・ 被災建物の処理等にも助け合う雰囲気が出てきたか。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域同士の手助けは被災後もなかった。個人個人でしていた。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアも自衛隊も対応が遅かった。来ても余計に雨漏りする箇所が多かった。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・

(2) 基本方針 6 : みんなが主役となる協働・自立のまち

課 題		繋がりやすい地域コミュニティ
それぞれの現状	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数年前に転居して、近所との付き合いもあまり深くない。組(町内会)にも入っていない。
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会でどんな住民がいるのか把握しづらい。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内での共助だけに期待できない。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・